

欧州印刷業界 NEWS



- powered by drupa -

2015 年 1 号（初夏）

近ごろのヨーロッパでは、第 2 次世界大戦終戦 70 周年を迎え、欧州連合（EU）に代表される『ひとつの欧州』の重要性が強調される一方、ギリシャ債務問題、あるいは英国総選挙の争点のひとつとなった EU 残留問題など、各国の利益を追求する動きも見られます。弊社の各産業ニュースでも触れていますが、なかでもいわゆる『ギリシャ危機』は先行きが不透明で、最悪のシナリオが招く事態は誰の想像も及ばない、というのが本当のところのような気がします。

さて、お待たせしました欧州印刷業界 NEWS 本年第 1 号ですが、下記のテーマを取り上げました。

- ▶ [トレンド](#) . . . drupa グローバル・トレンド・レポート
事務所・自宅用プリンタのビジネスモデル
- ▶ [業界・企業ニュース](#) . . . ハイデルベルグ社の戦略、ブラザーが英国企業を買収
- ▶ [メッセ情報](#) . . . drupa 最新情報、中国で開催された PRINT CHINA

ぜひ最後までご覧ください。

第 1 部：トレンド

トレンド 1： drupa グローバル・トレンド・レポート

メッセ・デュッセルドルフが委託した欧州コンサルティング会社が、印刷機械・部品メーカー、印刷会社の 1,100 人もの経営責任者に対し、世界の印刷業界の実情とトレンドに関するアンケート調査を行いました。その結果をまとめたもの（英語）は[→こちら](#)でご覧になれますが、重要なポイントは次の通りです。

- 景気展望： 印刷会社の 48%は 2015 年にビジネス環境が改善すると見ており、特に印刷包装と機能性印刷の分野において、楽観的です。印刷機械・部品メーカーの 51%も、2015 年の売上・受注などがよくなると期待しています。
- 経済的な挑戦： 印刷会社にとって厳しい状況のひとつは、なかなか値上げができないことです。事実、競争が激しく、顧客からの要求も強いいため、印刷会社の 38%が値下げせざるを得ず、加えて受注ごとの印刷部数も少なくなっている傾向もあり、さらに経済的に圧迫されています。

- ビジネスモデルの多様化： 印刷会社は、ウェブ印刷をはじめとした『ウェブ・デジタルサービス』など、提供するサービスの種類を増やす努力をしています。世界のなかでも、北米がこの点において進んでいます。

出典：drupa Global Trends Report March 2015

トレンド2： 事務所・自宅用プリンタのビジネスモデル

事務所・自宅用プリンタは、ここ数年価格破壊の傾向が明確になり、メーカーにとっての唯一のビジネスチャンスは、プリンタ自体を安く売り、消耗品であるインキをやや高く販売する、というものでした。しかし顧客がこれを批判し、純正のインキ・カートリッジではなく、価格の安い代替品を使用する様子も見られました。

この状況を分析し、環境への配慮も考え、日本のセイコーエプソン社はドイツで『エコタンク』と称するプロジェクトを紹介しました。具体的な数字で表しますと、『エコタンク』プロジェクトのプリンタ価格を、通常のおよそ2倍（299ユーロ）に設定する代わりに、2年間の通常印刷量（白黒印刷 4,000 ページ相当）をまかなうインキ量を保証するというもので、これにより、1ページ当たりの印刷費が1セント（約1.3円相当）と、通常の1割になります。一方、HP社は米国で『インスタント・インキ』と称する提案を行っています。これは、毎月定額制でインキの提供が保証されるもので、プリンタがHP社のクラウドと接続され、インキが必要となりそうな時点で自動的に新しい注文がなされます。このモデルがHP社の売上にどの程度まで貢献するかは分かりませんが、顧客満足に資することは明白で、そして顧客満足はメーカー・ブランドに対する信頼を育むことから、メリットがあると思われます。

出典：2015年1月30日付 VDI-Nachrichten 紙

第2部：業界・企業ニュース

雇用を生み出すドイツ企業

ドイツ経済が昨年成長した証のひとつは、どれだけ新たに雇用が生まれたかということです。ドイツの日経紙と言われる『Handelsblatt』の調査によれば、DAX 株価指数の対象となる大手企業は、2014年に40,000超の雇用を新たに創出したとのこと、これは連邦共和国史上、記録的な数字です。大きく貢献したと言われているのは、自動車産業・同部品産業とのことですが、増加する輸出を背景に、大手だけではなく中小企業も従業員数を増やしています。

出典：2015年3月31日付 Handelsblatt 紙

ハイデルベルグ社は、デジタル・サービスを強化

ドイツ印刷機械メーカーNo.1であるハイデルベルグ社は、数年間に渡って厳しいリストラを実施してきましたが、これからはビジネス戦略の変更で重点を置くと言われていました。3年前に社長として任命されたリンツバッハ氏は、同社が今後デジタル印刷に力を入れ、現在総売上の5%を占めるデジタル印刷機械のシェアを2020年までに10%へと増やす、という計画を公表しました。また、上述の『drupa グローバル・トレンド・レポート』でも取り上げられているピ

ビジネスモデル多様化の一環と言えそうですが、サービスとソフトを提供するオランダの PSG（プリンティング・サービス・グループ）社を買収しました（買収の詳細は⇒[ハイデルベルグ社のプレス・リリース](#)）。

出典：2015年4月2日付 dpa リリース・FAZ 紙、2015年3月4日付 Handelsblatt 紙

日本のブラザー工業は英国のドミノ社を買収

去る3月11日、日本のブラザー工業は英国の産業用印刷機器メーカー、ドミノ・プリンティング・サイエンスを買収すると発表しました。東洋経済によれば、ドミノ社は1978年に創業し、ペットボトルや医薬品の包装、金属や樹脂の部品などに賞味期限やロット番号、製造所記号などを印字する『コーディング・マーキング』という分野のほか、商品パッケージへのデジタル印刷機器・サービスなどを世界的に展開しています。ドミノ社を傘下に加え、ブラザー工業は産業用印刷事業やデジタル印刷に進出するようです。

出典：2015年3月31日付 Verpackungsrundschau 誌、
2015年3月13日付 <http://toyokeizai.net/articles/-/63071> サイト

第3部：メッセージ情報

drupa 最新情報

既報のとおり、去る2月10日に開かれた実行委員会において、印刷業界のオリンピックと言われ、これまで4年ごとに行われてきた drupa の開催周期を、3年に変更することが決定しました。これは、デジタル印刷、3D印刷、機能性印刷など、イノベーションサイクルが従来よりも早い技術・製品に対応するものです。よって、2016年以降は、2019年、2022年、2025年と、3年ごとに開催されます。

しかし、まずは2016年の drupa です。お陰様で準備は順調です。本年2月上旬の時点で、ご用意している面積の90%相当のお申し込みを頂戴しています。ドイツ大手、ハイデルベルグ社と KBA 社は、今回も変わらず大きな出展エリアを設けます。2012年に話題になった Landa 社は、2,600㎡と面積を2倍にして出展予定と公表しています。

drupa 2016 出展者は、間もなく発表されますが、日本語での情報は先日リニューアルされた日本語版ホームページにてご覧いただけます。また、drupa は[ブログ（英語）](#)も運営しています。ぜひ、アクセスしてみてください！

| メッセ名 | 開催期間 |
|--------------------------|-------------------------|
| PACK PRINT INTERNATIONAL | 26.08.2015 - 27.08.2015 |
| PacPro Asia @ swop | 17.11.2015 - 20.11.2015 |
| drupa | 31.05.2016 - 10.06.2016 |
| INDOPRINT | 07.09.2016 - 10.09.2016 |
| All In Print China | 18.10.2016 - 22.10.2016 |
| Interpack | 04.05.2017 - 10.05.2017 |

出典：2015年2月18日付 ProPrint 誌、

2014年12月3日付 druck-medien.net サイト・www.print21.com.au サイト

PRINT CHINA 2015

中国・広東で4月7日～12日に開催されました『PRINT CHINA 2015』に、ハイデルベルグ社とKBA社など、業界大手が参加しました。ハイデルベルグはデジタル・オフセット印刷のインテグレーションを、KBAは特に包装印刷のソリューションを見せ、注目を集めたそうです。

メッセ・デュッセルドルフ・上海は、主催する『All in Print China』の開催を来年に控え、ブースを同展に設けるとともに、記者発表も行いました。ちなみに、『All in Print China』は前回、全7ホール・82,000㎡に20か国・680社が出展、4日間で延べ106,000を超える業界関係者が来場し、大盛況のうちに終了しました。今回は2016年10月18日（火）～22日（土）と会期を5日間に拡大し、同じく上海新国際博覧中心（SNIEC）で開催されます。出展お申し込みをはじめ、各種情報につきましては、弊社が作成しているdrupa日本語版サイトにてご確認ください。



出典：2015年5月2日・4月27日付Print.de サイト

欧州印刷業界 NEWS・2015年1号は、いかがだったでしょうか？ご意見やご要望をお聞かせいただければ幸いです。

【発行】(株)メッセ・デュッセルドルフ・ジャパン

【編集 担当】メルケ・橋木【メッセ担当】橋木

<http://www.messe-dus.co.jp> ・ <http://drupa.messe-dus.co.jp>



本ニュースレターの掲載情報は発行日現在のものであり、予告なく変更される場合がございます。あらかじめご了承ください。